

「住民の方との対話」を目的に、まちかどインタビューを掲載しています。

○どのくらいプレーしていますか。楽しいですか？
月のうち、15日以上はします。健康には最高です。1万歩くらい歩き、頭脳もしっかり使つので、高齢者には最適なスポーツです。年齢は60歳以上、平均75歳ほどです。80歳代も多いし、大正生まれの人も何人もいます。皆さん

海洋センターのマレットゴルフ場でプレー中の五味三郎協会長と、植松富貴子さんに聞きしました。



五味会長と植松さん

マレットゴルフは高齢者の健康増進に最高です

○お仲間ほどのくらいいますか？
諏訪地方協会には1500人くらいいます。定期的な大会が月に10回あります。この交流で大勢と顔見知りになりました。
冬にはプレーできないので、諏訪湖畔端のコースに出かけたり、伊豆方面にも2回ほどバスで出かけたりもして、結構忙しいです。

とても元気です。



○町と議会に注文は？
諏訪地方で公営の36ホールのコースがないのは富士見だけです。大きな大会が開けず、おもしろいやら、大変困っています。この近くに18ホールの増設か、または新規に場所をさがして、36ホールのコースを造っていただけませんか。
その際には、皆で造成工事のボランティアをやりましょう。ぜひとも早急に着工をお願いします。議会でも、ぜひ取り上げて、実現してもらいたい。大勢の期待がかかっていますから。

編集後記

近頃よく耳にするのが、少子化、高齢化、限界集落、などの言葉ですが、我が町も決して例外ではありません。

暮らしやすい町づくりをめざすためには、お年寄りから子供まで、幅広い年代の住民が増えてくれることが、町の発展につながる第一歩ではないでしょうか。

そのためには行政も、町民も、議員もめざす方向を共有して見つめ、西だ、東だ、南だ、北だとはばらばらにならずに、まるい地球のつえにある安心、安全な住みよい町づくりにまい進できればいいなと、パノラマ山頂より町を見下ろし思う梅雨空の休日でした。

(織田昭雄)

■議会広報編集委員会

編集委員長 小林 光
副委員長 名取 武一
委員 エンジエル千代子

〃 織田 昭雄

ふじみ議会だよりは、議会ホームページにも掲載されています。